

北上地区

今年も大盛況 にっこり夕市

8月13日(日)に、毎年恒例の「にっこり夕市」がにっこりサンパークで行われました。

この夕市は、午後4時から1時間だけの開催でしたが、新鮮な海の幸が奉仕価格で売られるとあって、お盆の準備で忙しい中、来客用にと買い求める人や帰省中の人など大勢の人々が賑わいました。

この日の目玉商品は、完全予約制の「活ウニ」。

キャンセル待ちでも手に入れようとする人もいて大賑わいでした。

焼いても刺身でも美味しい活ホタテや北上川名産のしじみも人気を集めていました。

また、お楽しみ抽選会では地場産品のプレゼントもあり、うれしく美味しい夕市でした。



牡鹿地区

「あふれだす情熱」

7月25日(火)、牡鹿公民館で牡鹿地区青少年健全育成市民会議および市教育委員会主催の、平成18年度牡鹿地区「少年の主張」小・中学生大会が開催されました。

牡鹿地区の各小・中学校から推薦された小学生4人、中学生6人が、日ごろ学校や家庭、地域社会、友人などこの関わりの中で、心に思い、感じていることや考えていることなどを、詰め掛けた多くの聴衆の前で、身振り手振りを交えながら発表していました。

《審査結果》
最優秀賞

・小学生の部

「ツバメの親子を見て考えること」

・中学生の部 「鯨の町の夢構想」

鮎川小学校6年 後藤若葉さん

・小学生の部最優秀賞者は牡鹿地区文化祭(芸能祭)、中学生の部最優秀賞者は「少年の主張」石巻地区大会(9月5日(火)桃生公民館文化ホール)に出場します。



石巻区

風をこよほすて ヨットを操る

7月30日(日)、サン・ファン館前海上で子ども達を対象とした「船人シッパ講座」が開かれ、約20名の子供達が「ヨット体験」が開かれました。

これは、サン・ファン館の体験学習事業のひとつとして開催されたもので、オプティミスト・ディンギーという小さなセイルボートを使って、海洋技術を体験的に学びながら、自然と親しむことを目的としたものです。当日は、5人の子ども達も参加しました。



はじめに陸上でヨットの説明を受け、ヨットは上手に風を受ければ、風上へ斜めに進むことができることや、舵のとり方の基本などを教わりました。



それからは、指導員と一緒にヨットに乗り込み、帆走開始です。

この日は前日の雨とは違って空気が広がり、しかも初心者の帆走にはちょうどよい風が吹いていました。

最初のうちは指導員に手取り足取り教わりながらの操船でしたが、慣れてくると、自らの手で舵を操り、自由にヨットを操っていました。

でんきを消して スローな夜を

8月8日夜、駅前ぎわい交流広場で、「100万人のキャンドルナイトin石巻」のまき 星空コンサート(同実行委員会主催)が開催されました。

この催しは、毎年夏至と冬至の日に2時間電気を消して、それぞれの思うところのスローな夜を過ごす運動です。

石巻では、夏至のころは梅雨時なので、一月半遅れで開催されました。

当日は、地元の方々のリコーダーの演奏やフルート・オカリナなどのコンサートが開催されるとともに、近くのデパートやパチンコ店・ホテルなどの看板灯が午後8時をもっていっせいに消されました。

訪れた人々は、きれいに揺めくろうそくの炎や美しい音楽を楽しんでいました。



リズムを 楽しむ

8月10日(木)、石巻中央公民館で、「リトミックサークル リトミックキッズ」の3歳グループのリトミック教室が開催されました。

リトミックとは、スイスの音楽教育家・作曲家であったエミール・ジャック・クワルクローズ(1865~1950)によって提唱された音楽教育の考え方です。頭だけでなく音楽を勉強するのではなく、体全体、五感すべてを使って、体の中に音感・リズム感を育ていく音楽教育です。



この日は、7組の親子が参加し、子ども達は、先生の電子オルガンに合わせて、お母さんと一緒に踊ったり、走ったり、ジャンプしたり元気いっぱいでした。